

世界最大級の小型SAR衛星コンステレーションで防衛・防災を支援する「ICEYE」

地球観測衛星コンステレーション構築において

IHIと正式契約を締結

日本国内でのSAR衛星製造・運用体制を加速し、日本の安全保障を強化

世界最大級の小型SAR衛星コンステレーションで防衛・防災を支援する「ICEYE」（アイサイ）は、株式会社IHIと、安全保障、公共および商業利用を目的とする地球観測衛星データを提供するため、SAR衛星コンステレーション構築に関する正式契約を締結しました。本契約を通じて、最大24基のSAR衛星コンステレーション構築を目指すとともに、日本国内でのSAR衛星製造と運用体制の整備を強化します。



本契約の背景

本契約は、国家安全保障とレジリエンスの強化のみならず、日本の宇宙産業をより活性化し、その発展を促進することを目的に、2025年5月に両社が締結した覚書（MOU）を発展させたものです。ICEYEは、SAR衛星において高度な技術力と多くの製造実績を有しており、非常に高機能かつ長寿命のSAR衛星を量産する技術において、世界をリードしています。雲や夜間といった観測条件に左右されることなく、地表の詳細な画像を取得できるレーダー技術を備えており、防衛、防災、セキュリティなどの幅広い分野において、信頼性が高く継続的な監視と迅速な対応を可能にします。IHIとICEYEの協業により、日本国内で最大24基のSAR衛星コンステレーション構築を目指します。

本契約の内容

今回の契約により、IHIは4基のSAR衛星および関連する撮影画像取得システムを発注し、将来的には最大20基を追加調達できるオプションを保有することが可能となります。2026年4月頃より段階的に運用を開始し、データ提供を順次進める予定です。初期4基のうち2基は日本国内で製造と試験を行う計画であり、実証結果を踏まえたうえで2026年度以降、追加調達を段階的に実施、2029年度までに全24基によるコンステレーションの構築を完了する見込みです。

本契約は、ICEYEの迅速な衛星展開力とIHIの高いエンジニアリング技術を融合させることで、日本の安全保障体制を強化するだけでなく、サプライチェーンの拡充や次世代の専門人材育成といった国内の宇宙産業の発展に貢献します。

ICEYE

ICEYE 共同創業者 兼 CEO ラファル・モドジェフスキのコメント

ICEYEは2018年以来、日本との強固な信頼関係を築き、共有する価値観と革新の精神のもとに協力を重ねてきました。今回のIHIとの正式契約は、パートナーシップの新たな節目であり、共通の安全保障とレジリエンスの向上に向けた取り組みをさらに加速させるものです。IHIの優れたエンジニアリング力とICEYEのSAR衛星技術を組み合わせることで、日本が自らの手で高精度な地球観測データにアクセスできる環境を実現し、宇宙からのインテリジェンス分野での日本のリーダーシップ強化に貢献します。

株式会社IHI 代表取締役社長 最高経営責任者 井手 博氏のコメント

私たちIHIは、急速に変化する世界の中で、安全・安心な社会の実現に貢献することを理念としています。今回の取り組みは、IHIの未来を見据えた投資であり、ICEYEと連携しながら、最先端の衛星による新たな価値創造に挑戦します。この地球観測衛星コンステレーションの構築を通じて、国家安全保障・経済安全保障のみならず、幅広い分野での課題解決を目指してまいります。IHIグループの、ものづくり力を結集し、未来の社会に必要な不可欠となるインフラの構築をリードしていきます。

ICEYEについて

ICEYE（アイサイ）は、フィンランドに本社を置く、小型合成開口レーダー（SAR）衛星のリーディングカンパニーです。世界最大級の合成開口レーダー（SAR）衛星コンステレーションを所有するICEYEは、客観的でほぼリアルタイムの洞察を提供し、昼夜を問わず、また厳しい環境条件下でも行動可能なデータへの無比のアクセスを確保します。

世界において政府や商業産業の信頼できるパートナーとして、ICEYEは防衛・情報、保険、自然災害対応・復興、セキュリティ、海事モニタリング、金融などの分野でインテリジェンスを提供し、コミュニティのレジリエンス（回復力）や持続可能な開発に貢献する意思決定を支援しています。

日本法人の他、ICEYEはフィンランド、ポーランド、スペイン、英国、オーストラリア、UAE、ギリシャ、米国に拠点を持ち、国際的に事業を展開しています。900人以上の従業員が、地球観測における「真のデータ供給者」となることで地球上の生活を改善するという共通のビジョンに基づき活動しています。

